

京都府左京民主商工会

第62回定期総会決議にもとづく 今期の重点方針

2016年11月13日

1. 青年部の再建を含む若手会員への世代的継承

現状：40歳前後を中心に若手の民商会員や会員の専従者は約40人いるが、横の繋がりにはほぼ作られていない。

方針

- ・顔合わせのための交流企画の開催。
- ・インターネットやメールなど活用して連絡の取り会える仕組みの確立。
- ・要求に応じた勉強会やレクリエーション企画の開催。

2. 「仕事のネットワーク」を生かした経営対策

現状：ホームページにて会員の屋号・住所・電話番号は掲載している（任意で）が、外へ向けた宣伝や活用ができていない。

方針

- ・再度ホームページの充実を図るとともに存在を広めていく。
- ・会員同士の交流を通じて仕事が回し合えるよう繋がりを深められる取り組みを実施する。
- ・生活の困りごとで民商会員の紹介を求められた場合、スムーズな対応ができるような仕組みづくり。

3. 気軽に集まれる交流会の開催

現状：会員同士の交流できる企画ではカラオケ教室（交流会）を4回開催した。その他の活動は不十分に終わっている。

方針

- ・支部会・班会を定期的に行うことができるよう本部役員・支部役員中心に企画する。
- ・趣味の集まり（カラオケ・食事会・名所散策など）を開催できるように役員中心に核となる人を選び、参加者を増やしていく。

 これら方針の前進のために本部役員がいずれかの分野を担い、有志を募って取り組んでいく。